もぎたて通信

令和８年９月９日
長崎市立茂木小学校
発行　校長　松尾伸章
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ　www.nagasaki-city.ed.jp/mogi-e/

「猛暑」「酷暑」という言葉が日常だった今年の夏でしたが、それでも空を見上げると、その青の変化に秋の気配をわずかながら感じるようになりました。青が輝くのが夏で、青が濃くなるのが秋です。「見上げると天高し」の季節が一歩一歩近づいているのが分かります。

２学期がスタートして１週間あまりが過ぎました。おかげさまで、子供たちは学校生活のリズムを取り戻してきているようです。２学期も、本校らしい教育活動を展開していきたいと考えています。今後も、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

みんなが成長できる2学期に

始業式の日に、子供たちにこんな話をしました。

２学期は、一番長く、たくさんの行事もある学期です。２学期の勉強や行事の中で学んだことは、みなさんの未来につながります。２学期も、大好きなこと・やりたいことをめあてや目標にして、茂木小の仲間と一緒に、たくさんのことにチャレンジしてください。

１学期の代表委員会で、みなさんは、今年のテーマを「プラスワンの挑戦で　笑顔いっぱい　みんなが楽しい　茂木笑楽校」と決めました。たいへん良いテーマですね。プラスワンとは、もう一つとか、もう一歩ということです。もう一歩、もう一歩とさらに上を目指して挑戦（チャレンジ）を続けてください。

そして、２学期の終わりには、「私は頑張った」「私たちは頑張った」と自信を持って言える充実した２学期にしましょう。

それから、もう一つ。言葉遣いをレベルアップする２学期にしてください。言葉遣いは、心遣いです。自分が使っている言葉は、相手を大切にしている言葉なのかよく考えましょう。あいさつや返事もやり方次第では、その良さが台無しになってしまうことがあります。言葉を発するときには、相手を思いやる心が必要です。相手の気持ちを考えた言葉遣いの名人になりましょう。茂木小のみんなで言葉遣いをレベルアップしていくと、もっともっと　えがおいっぱい！　みんなが楽しい　茂木笑楽校をつくっていくことができます。

茂木小学校の仲間と助け合いながら、プラスワンの挑戦（チャレンジ）をして、言葉遣いをレベルアップしながら、えがおいっぱい！　みんなが楽しい　茂木笑楽校を、みんなでつくっていきましょう。

「たくさん挑戦（チャレンジ）すること」「言葉遣いをレベルアップすること」の２つをお願いしました。より大きく成長するためには、チャレンジが必要です。そして、チャレンジするためには、「勇気」が必要です。その「勇気」を膨らませてくれるのが仲間です。仲間の言葉かけです。思いやりのある言葉です。行動です。心遣いです。

どの子も自由に、思い切りチャレンジして、大きく成長できる２学期にしてほしいと強く願っています。成長のカギは、結果よりもチャレンジの過程にあります。みんなで言葉遣いをレベルアップして、「失敗しても大丈夫」と思える雰囲気をつくってあげたいと考えています。

失敗したときは、逆に大きなチャンスでもあります。周りの仲間たちが、私たち大人たちが、その子に寄り添い、一緒に考えてあげることで乗り越えていけるものです。すぐに成功した時よりも、もっともっと大きな成長につながることが多いです。

茂木小学校の子供たちみんなが、自分らしく健やかに成長していけるよう、茂木小学校にかかわるすべての大人たち「チーム茂木」でしっかりと支えていきたいと思います。



１学期からあるものですが、保健室の前には、こんな掲示があります。子供たちが考えて書いた「ふわふわことば」がたくさん貼ってあります。その一つ一つをじっくり見ているだけでも、自然と笑顔になっている自分に気付きます。言葉は、魔法です。「ふわふわことば」でいっぱいの茂木小になりますように。



子供たちのチャレンジを支える上でもう一つの大切なことは、「早寝　早起き　朝ごはん」です。保健室では、体位測定のあと養護教諭がそれぞれの学年の子供たちに「睡眠列車の旅」のお話をしました。十分な睡眠をとることができれば、４つのプレゼントがもらえるそうです。１つ目は「成長ホルモン」、２つ目は「体の回復」、３つ目は「やさしい心」、そして４つ目が「記憶力」だそうです。「十分な睡眠」をとって、しっかり朝ご飯を食べて、元気に登校してきてほしいと願っています。

若菜川を眺めて

「幸せを感じる力」というものがあるそうです。同じことを体験・経験しても、それを「幸せ」と感じるかどうか、ということでしょうか。

例えば、人は欲深く、満たされれば満たされるほど幸せを感じることができなくなっていくそうですが、こうした人は、「幸せを感じる力」が弱いというのでしょう。

できれば、ちょっとしたことでも「幸せを感じる」ことができれば、人生は豊かになるような気がします。

そうした「幸せを感じる力」を磨く一つの方法が、言葉との出会いだそうです。今回は、私が出会った「ほっとした言葉」を紹介します。

> 人は、泣いている時間と笑っている時間　どちらが多いのでしょう？
> かけ算で考えてみましょう。
> 泣いているとき　しくしく（４９）泣くので　４×９＝３６
> 笑っているとき　はっはっ（８８）と笑うので　８×８＝６４
> 足してみると　３６＋６４＝１００です。
> 笑っている方が多いんですね。
> だから号泣（５９）しても大丈夫　５×９＝４５
> まだ半分以上笑えることが必ずありますよ

自分で自分を応援する意味でも、こうした言葉との出会いは大切にしたいものです。